大津市議会
湖誠会 議会だより
Otsu City Assembly
KOSEIKAI NEWS
2026.11
令和８年11月１日発行
vol. 69

〒520-8575 滋賀県大津市御陵町3番1号　TEL.077-528-2839　FAX.077-523-2020　URL▶https://otsu-koseikai.jp

ごあいさつ

紅葉の候　市民の皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、９月１日に開会しました９月通常会議においては42件の議案を審査いたしました。今回可決した補正予算には、国庫補助金等を活用した、障害福祉分野の生産性向上の取組に関する研修会等開催経費、地域障害児支援体制充実のためのＩＣＴ化推進に係る経費補助等、また、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した支援経費の補正として、フードバンク活動団体への食料品等購入支援補助や障害福祉サービス事業所への光熱費補助等、市民の皆様に安心・安全な日々を過ごしていただくための取り組みなどが含まれています。



令和７年度の決算審査では、個人市民税の大幅な増収や法人市民税・固定資産税の増加により、安定した財政基盤を維持し、48年連続の黒字であったこと、国の交付金を活用し、「おおつ割」による消費喚起や子育て世帯・医療福祉施設等への支援を的確に行ったことや、総合計画第３期実行計画の初年度として、国スポ・障スポの開催、待機児童・不登校対策などの喫緊の行政需要へ適切に対応したことを評価しました。

一方、災害の激甚化など近年の予測困難な情勢の変化や、公共施設の老朽化対策に加え、本格化する「市役所新庁舎の整備」などにより、今後さらに財政負担が増大するリスクを抱えています。短期的な黒字や健全性に安住せず、不断の業務見直しや徹底した効率的・効果的な支出を推進し、行財政運営を厳しく求めていき、市民福祉のさらなる向上と持続可能な都市基盤の構築、健全財政の堅持に努めながら市政運営を進めることが重要と考えます。

私たち湖誠会の議員は、「夢があふれるまち大津」の実現に向け、引き続き全力で取り組む所存です。今後とも所属議員に対しまして、さらなるご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

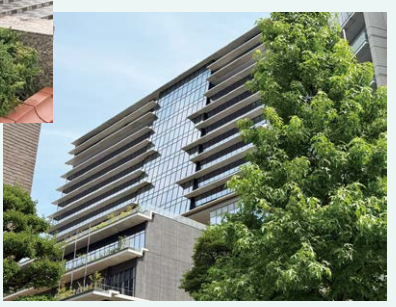
幹事長　竹内　照夫

右より　草野　聖地議員
葉月　陽　議員
竹内　照夫議員
寺田　英幸議員
川口　正徳議員
福永　英晶議員
竹内　基二議員

行政視察報告

岡山市と瀬戸内市への行政視察を通じ、地域課題の解決に向けた先進的な姿勢に大変深い感銘を受けました。岡山市の計画的な幼保再編や丁寧な合意形成、迅速な決断で実現した新庁舎の防災・デジタル機能、そして瀬戸内市の地域に根ざした質の高い図書館運営など、多くの貴重な学びを得られました。これらの成果を大津市の未来のまちづくりにぜひ活かしていきたいです。







令和９年度『政策要望書』を市長に提出

令和８年10月14日㈬、令和９年度予算編成にあたり、50項目に及ぶ湖誠会としての「政策要望書」を市長に提出しました。

市民の皆様が、安心・安全に住み続けることができる、「夢があふれるまち大津」を目指し、今後も執行部と共に全力で取り組んでまいります。



公職選挙法により、議員による時候の挨拶状・寄附行為などは禁止されています。ご理解をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和7年度大津市決算の概要

9月通常議会において、一般会計を含む13会計の令和7年度決算について審査し、全ての決算議案について認定しました。

総括
- 歳入総額、歳出総額ともに過去10年間で、令和2年度に次いで2番目の決算規模になりました。
- 前年度に比べ、実質収支、単年度収支ともに減少しました。

歳入
- 市税は、対前年度比で33.5億円の増収となりました。(+6.4%)
- 国庫支出金は、対前年度比で12億円の増収となりました。(+3.7%)
- 地方交付税は対前年度比で17億円の増収となりました。(+9.9%)

歳出
- 扶助費等の義務的経費は、対前年度比で24.3億円の増となりました。(+2.8%)
- 一般行政経費は、対前年度比で38.7億円の増となりました。(+8.8%)
- 投資的経費は、対前年度比で11億円の減となりました。(▲7.9%)

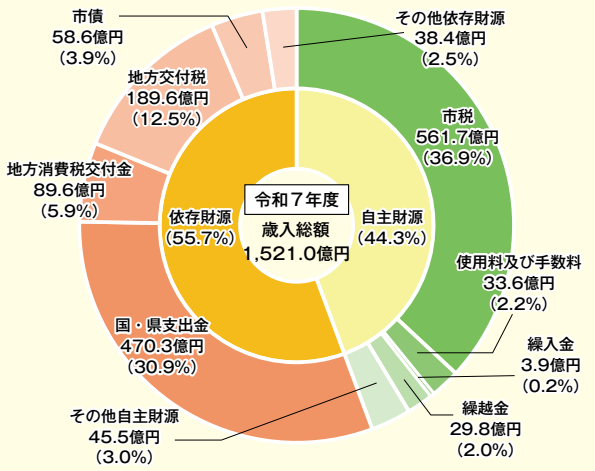
一般会計決算額

(単位：千円)

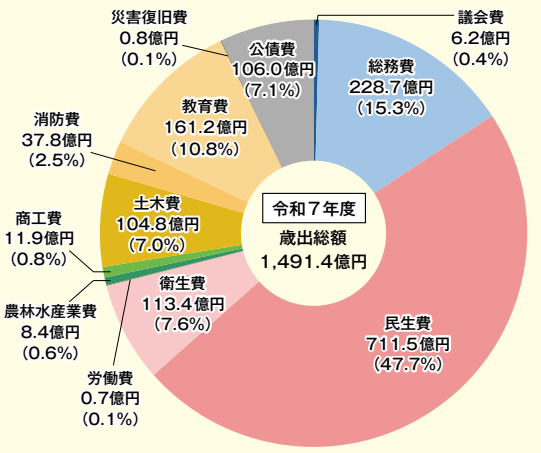
	令和6年度	令和7年度	前年度比
歳入	146,909,564	152,104,505	103.5%
歳出	143,932,904	149,141,011	103.6%
差引（形式収支）	2,976,660	2,963,494	99.6%
翌年度繰越財源	184,740	1,035,412	560.5%
実質収支	2,791,920	1,928,082	69.1%
単年度収支	215,464	▲863,838	-
実質単年度収支	▲500,632	▲813,254	-

実質収支：形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を控除した額
単年度収支：当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額
実質単年度収支：単年度収支に実質的な黒字を加え、実質的な赤字を差し引いた額

一般会計「歳入」決算額の内訳



一般会計「歳出」決算額の内訳



9月通常会議一般質問

質問、答弁は一部抜粋です。詳しくは大津市議会ホームページをご覧ください。※質問順に掲載しています。



福永　英晶 議員

公共施設マネジメント（個別施設計画）の作成により、質の高い就学前教育・保育環境の整備と施設保全の最適化をすすめることについて

Q 個別施設計画の作成による財政・施工の効率化について、老朽化した公立園の単純更新を避け、限られた財源で最大の効果を生み出すためには、公共施設マネジメント（個別施設計画）を作成し、認定こども園化や集約化のタイミングに合わせて長寿命化工事等を一体的に推進することが極めて効果的と考えるが、教育・保育の再編スケジュールと、建築・保全の改修計画を一体のものとして捉え、施工や財政の平準化・効率化を図る手法について、本市としての基本的な認識と今後の取り組みへの見解を伺う。

A 個別施設計画については、就学前教育・保育施設に係る計画策定後に、その内容と整合を図りながら、単純に現在の施設を更新するのではなく、限られた財源でより効果的・効率的な施設整備が行えるよう検討する必要があると考えている。



葉月　陽 議員

これからの市立図書館のあり方について

Q 築45年を迎える大津市立図書館について、現在の課題と、「本を借りる場所」に加えて、これから求められる役割、将来の図書館整備について問う。

A 大津市立図書館では、年間約140万冊の資料等の貸出しや閲覧、レファレンスサービスのほか、おはなし会、工作会、映画会、講座等を開催し、そのほとんどが定員一杯となっており、令和７年度の来館者数は約52万５千人で、前年度より約１万人増加した。限られたスペースではあるものの、幅広い世代が利用しやすい空間の提供やバリアフリーへの取り組みを進めており、多様な世代の交流や人が集う拠点、誰もが安心して気軽に過ごせる居場所としての機能も重要であると考えている。近年、外壁や空調設備、中央監視設備などの大がかりな改修工事を行い、施設の適正な維持管理に取り組んでいるが、将来の整備については公共施設マネジメントの観点に基づき慎重に検討する必要があると認識している。



寺田　英幸 議員

本市の子育て支援施設の現状や今後のあり方について

Q 本市の子育て支援施設である児童館について、現状や児童館が目指していること等について伺う。また、子育て支援施設における就学前の親子の交流の場づくりが有意義であると考えるが、各児童館の活動や情報提供等、今後のあり方について見解を伺う。

A 児童館では、ボランティアによる絵本の読み聞かせや、親子のふれあい遊びの提供などで子育て支援や、子どもの心身を育成し情操をゆたかにすることを目指しており、来館者の年齢層など傾向を分析して事業の充実につなげるとともに児童厚生員間の情報交換や児童館職員と担当課において運営上の課題を共有するなどよりよい運営に努めている。

また、子育てひろばゆめっこをはじめ、つどいの広場や児童館で実施の親子で参加できる事業等を毎月発行の児童館だよりや市ホームページ、子育てアプリのプッシュ型通知で広く周知するよう努めていくほか、地域や学校園等の子どもに関わる関係機関等と連携を深め、中高生や大学生などの若者がボランティア活動等を通じて児童と触れ合う機会となる場所になるよう取り組んでいく。

※他に１項目の質問あり。